

# 議案

## 地盤品質判定士会神奈川支部 第三回総会

2019年4月20日



# 第一号議案

## 2018年度事業報告・会計報告



# 2018（H30）年度事業報告

## <総括>

### H30事業計画<方針>

- 中期計画の2年目として支部活動の活発化を図る
- WG間の活動緊密化：WGの合同開催、行事の連携
  - 行政、関連諸団体への具体的働きかけ
  - 業務受け入れ（受注）体制の整備

#### 【地盤品質判定士会本部対応】

- 支部の全国展開に対する支援

### <主な実施事項>

- 国交省民間資格登録を契機に県内行政機関へ広く周知活動、主要市との意見交換会
  - 川崎市との連携による宅地相談会
  - 行政からの業務委託、行政の紹介による相談
- 受け入れ（受注）体制の整備
  - 会員への業務実施に関するアンケート調査
  - 宅地相談の流れを記した市民向けチラシの作成
- 研修会4回の開催
  - 新たにディスカッション方式を取入れ
- 関連諸団体との連携、支部会費制導入については未達
  - 次期の継続課題

#### 【地盤品質判定士会本部対応】

- 支部の全国展開
  - 関西支部設立への支援、他の設立準備への協力

# H29事業報告

## ワーキンググループ

WG	氏名	所属	備考
会員WG	山田岳峰	鹿島建設（株）	リーダー、支部幹事
	酒井健	日本総合技術開発（株）	支部幹事
	野島立也	日揮プラントイノベーション（株）	支部幹事
	小浪岳治	岡三リビック（株）	
	片山浩明	東邦地下工機（株）	
広報WG	高橋一紀	（株）カナコン	リーダー、支部幹事
	細倉摂央	アースダイブ（株）	支部幹事
	福田 靖浩	データ・ユニオン（株）	支部幹事
判定士業務検討WG	大久保拓郎	（株）環境地質サービス	リーダー、支部幹事
	今井敬介	（株）グラウト工業	支部幹事

# 2018年度事業報告

## 会員WG

### ■ 計画

■ 会員の資質向上を目指した研修会、情報交換会を開催する(目標:4回)

ー講演会、2018年4月

ー会員相互によるディスカッション2018年9月頃、横浜市内

ー野外巡検 2018年12月頃、神奈川県内 宅地耐震化推進事業注目箇所等  
※連携候補:地盤工学会神奈川県グループ

ー情報交換会 時期未定、横浜市内  
※連携候補:横浜市等、横浜市建築士事務所協会

■ 研修会、情報交換会の開催を通し、神奈川支部の会員増に貢献する

■ 事業継続を見据え、会員WGメンバーの増員を図る(目標7名体制)

### ■ 実績

■ 合計4回の研修会を実施した。

ー稲垣秀輝氏の講演会(2018年4月21日)  
出席者数:19名

ー研修会(2018年11月2日)出席者数:31名

ー横浜市内野外巡検(2018年12月15日)出席者数:23名

ー会員相互ディスカッション(2019年3月8日)  
出席者数:9名

■ 支部会員数

38名(2018年3月末)→43名(2019年3月末)

■ 会員WGメンバー

5名(2018年3月末)→

1名増、1名減で5名(2019年3月末)

# 2018年度事業報告

## 広報WG

### 計画

- 県内の自治体への周知
- 広報用ツールの作成
- 関連他団体（法曹・不動産・建築・保険）との交流
- 会員，判定士への広報
- ワーキングメンバーの増員を図る（目標：5名体制）

### 実績

- 県庁・小田原土木センター，厚木土木事務所と横浜，川崎，相模原，厚木，藤沢，鎌倉，逗子，横須賀，小田原，二宮，平塚，秦野の各市町の関連部署に対して広報活動を実施
- 名刺，自治体向けチラシ，個人向けチラシを作成・印刷・利用
- 関連団体との交流は未実施
- 川崎市麻生区防災フェアに参加して宅地相談会を実施
- WGメンバーは3人に増強

# 2018年度事業報告 判定士業務検討WG

## 計画

- 支部として受注窓口としての体制づくり
  - 個人・法人での受注意思の確認
  - 業務範囲の分類（平地とがけ地など）
- ✓ 業務の引き合いが出始めたので、受け皿としての体制づくりを優先する。
- ワーキングメンバーの増員を図る（目標：5名体制）

## 実績

- 業務受注に関するアンケート
  - 各業務で人員を確保
- 受注体制の検討
  - 0次相談（相談会）
  - 1次相談（有料）
  - 業務
- WGは現状2名

# 会費制導入についての現状報告

- 昨年度提案を行った『会費制度』の導入について
  - 制度の導入について検討を重ね、導入に前向きな意見が多数を占めていた
- 一方で、本部や他地域で新たな動き
  - 「地盤品質判定士会」本部で、会費制を含めた組織の在り方の検討が始まる
  - 判定士会関西支部の設立と、中部支部（仮称）の設立準備
- 本部や他支部の方向が定まるまで、神奈川支部の会費制の導入は保留する
- 本年度は従来通り、寄付金を募る

# 会計報告

## 収支

		予算	決算
収入	寄付金	30,000	100,000
	紹介料		12,000
	繰越金	49,576	49,576
	計	79,576	161,576
支出	会議費	-20,000	9,700
	事務消耗品	-20,000	17,638
	計	-40,000	27,338
残高		39,576	134,238

## 資産

預金	124,352
現金	9,886
合計	134,238



第一号議案について

以上



# 第二号議案 役員改選



# 2018年度役員 および 2019年度役員案

## 2018年度

- 支部長  
立花 秀夫
- 副支部長  
高橋 一紀
- 会計  
大久保 拓郎
- 幹事（6名）  
今井 敬介、**酒井 健**、  
野島 立也、**福田 靖浩**、  
細倉 摂央、山田 岳峰

**斜体**は2018年度途中から参加  
**太字**は2018年度いっぱい退任

## 2019年度

- 支部長  
立花 秀夫
- 副支部長  
高橋 一紀
- 会計  
大久保 拓郎
- 幹事（6名）  
今井 敬介、**小倉 章**、  
野島 立也、福田 靖浩、  
細倉 摂央、山田 岳峰

**緑字**は2018年度途中から参加



第二号議案について

以上



# 第三号議案

## 2019年度事業計画・予算



# 2019（H31）年度事業計画 <方針>

- 中期計画の最終年度として目標へ向け、支部活動を更に推進する
- WG間の活動緊密化：行事の連携
  - 行政へのさらなる周知活動および連携・協働
  - 関連する諸団体との交流
  - 市民からの相談への積極的受入れ
  - 市民相談・業務受託への対応力強化、会員の資質向上

## 【地盤品質判定士会本部・支部対応】

- 他支部・部会等への協力、災害時支援
- 本部方針、行事等への協力・支援

## 2019年度事業計画 会員WG

- 会員の資質向上を目指した研修会、情報交換会を開催する（目標：4回）
  - ー末岡徹氏の講演会、2019年4月20日
  - ー会員相互によるディスカッション、2019年8月頃
  - ー研修会、2019年11月頃 ※連携候補：川崎市等
  - ー野外巡検、2018年12月頃、※連携候補：川崎市等
- 判定士業務研修の開催に関して、判定士業務検討WGを支援する。
- 上記の取り組みを通し、神奈川支部の会員増に貢献する。
- 事業継続を見据え、会員WGメンバーの現状維持(5名)を継続する。

# 2019年度事業計画 広報WG

- 県内自治体向け広報活動の継続実施
  - 相談会の共同開催
  - 個人向け相談チラシの配布
    - 未訪問自治体を先行
    - 訪問済み自治体（川崎市）との連携強化
- 関連他団体との交流
  - 不動産・法曹・保険・建築士関連対象
    - 相談会を通じて関係拡大
- 広報ツールの作成・更新
  - 印刷物の改良・更新
  - ホームページ・SNSの活用
- 会員，判定士への広報
  - イベント情報の告知，結果報告の徹底
- WGメンバーの増員
  - 会員，イベント参加者へのアプローチ

# 2019年度事業計画 判定士業務検討WG

- 相談・業務の受注
  - 0次相談（相談会・無料）
    - 広報WGと連携
  - 1次相談（有料）
  - 業務
- 判定士業務研修
  - 相談員としての研修
  - 相談・業務の事例報告会
    - 会員WGと関係

## 0次相談

- 相談会
- 無料相談

## 1次相談

- 0.5～1万円／時間
- 相談員は登録の上、研修を実施
- 支部による斡旋

## 業務

- 調査レポート・SWS・対策設計・施工など
- 会員から公募の上、依頼者と直接契約
- 支部に紹介料を納付

# 予算案

## ■ 収支

収入	寄付金	20,000
	紹介料	50,000
	繰越金	134,238
	計	204,238
支出	会議費	-20,000
	事務消耗品	-50,000
	計	-70,000
総計		134,238



第三号議案について

以上